



西新潟中央病院

NST NEWS 第43号

NST : Nutrition Support Team

発行日：2017年10月3日

担当：NST委員会

編集：栄養管理室

連絡先：内線5128

NSTミニレクチャー第25回 ～整腸剤・止痢剤について～

月に1度の栄養の勉強、NSTミニレクチャーのコーナーです。

今回は、「整腸剤・止痢剤について」です。



・整腸剤とは

整腸剤はヨーグルトなどにも含まれている乳酸菌などの腸管内の環境を整える菌を配合している製剤です。代表的なものとしてラックビー®やビオスリー®等があります。腸内環境が悪化して下痢や便秘が続いているようなときに有効です。内服した菌は腸管内に定着しないため、症状が続くときは内服を続ける必要があります。



・止痢剤とは

止痢剤は腸管が必要以上に動いているときや、抗がん剤の副作用等で下痢をしているときに使用します。代表的なものとしてロペミン®やフェロベリン®等があります。腸管の動きを抑えて便を腸管内に留め、体が水分を吸収することで下痢を改善します。その反面、腸管の動きを抑えるので副作用に便秘があります。



・その止痢剤、本当に必要？

下痢をしているから止痢剤を使う、という安易な使用法は注意が必要です。下痢は本来、生体防御反応の一つであり、体に入ってきた異物を排泄させる働きも備えています。そのため下痢を止めることでかえって病態が悪化することもあります。その代表例がノロウイルス感染症です。ノロウイルスは冬に流行しやすい食中毒の原因ウイルスの一つで、主な症状は嘔吐、下痢です。下痢は体内のノロウイルスを体外へ排出するために現れる症状ですが、止痢剤を使用すると体内にノロウイルスが留まってしまい、罹患期間が長引いてしまいます。下痢が続くけれど本当に止痢剤が必要かどうか悩んだら早めに医療機関を受診しましょう。



編集後記

これからの季節はノロウイルスなどによる感染性胃腸炎が増えてきます。ノロウイルスは加熱（中心温度85℃、90秒以上）することで死滅しますが、食事の前には必ず手洗いをして予防を心がけていきましょう。